

## 令和6年度 小・中学校「カリキュラム・マネジメント」実践研修 実施要項

- 1 目的 カリキュラム・マネジメントの意義と必要性、所属校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組みについて理解を深めるとともに、組織的にカリキュラム・マネジメントを推進する力を高める。
- 2 対象 小学校、中学校、義務教育学校、府立支援学校小学部、府立支援学校中学部の教員  
募集人数 50名

## 3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	6月4日(火) 14:00～17:00	学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー 組織的かつ効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
2	12月3日(火) 14:00～17:00	カリキュラム・マネジメントの取組みの実践交流 次年度の取組みに向けて 〔交流・講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。  
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。  
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。  
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
- 6 担当室 小中学校教育推進室

## 令和6年度 小・中学校「カリキュラム・マネジメント」実践研修 シラバス

## 1 目的

カリキュラム・マネジメントの意義と必要性、所属校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組みについて理解を深めるとともに、組織的にカリキュラム・マネジメントを推進する力を高める。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ			Ⅴ		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期							○	○	○						
第3期							○	○	○						
第2期															
第1期															
第0期															

## 3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する。</li> <li>組織的にカリキュラム・マネジメントを進めていくことの必要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義や演習を通して、カリキュラム・マネジメントの意義と必要性について学ぶ。</li> <li>講義や演習を通じて、組織的にカリキュラム・マネジメントを進めることの必要性について学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントに全教職員が関わっていくための工夫について考える。</li> </ul>	<b>準備物</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標がわかるような資料</li> <li>学校の教育計画がわかるような資料</li> <li>各教科及び総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科 道徳の年間指導計画</li> </ul>
	効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー	効果的なカリキュラム・マネジメントの進め方について理解する。	実践事例を聞き、カリキュラム・マネジメントのポイントを所属校の取組みに生かす工夫を考える。	

2	カリキュラム・マネジメントの取組みの実践交流	実践交流を通して所属校のカリキュラム・マネジメントの取組みについて振り返り、成果と課題を明らかにする。	実践のまとめに基づいた交流を通して、所属校のカリキュラム・マネジメントの取組みについて評価を行う。	<b>事前課題</b> カリキュラム・マネジメントの実践のまとめを作成し、持参する。
	次年度の取組みに向けて	カリキュラム・マネジメントの継続的な取組みについて理解し、所属校における次年度の取組みについて見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義や演習を通して、カリキュラム・マネジメントの取組みを継続的に実践していくことの必要性を学ぶ。</li> <li>・演習を通じて、次年度の取組みについて考える。</li> </ul>	